

## 飯豊・杵差岳

山行日：8月10日（月）～11日（火）曇り

イガ他1名

コース：10日 胎内ヒュッテ（標高340m）5:30ー足の松尾根取付（標高500m）5:42…姫子の峰6:40…滝見場7:33…イチジ峰（1265m）8:55…大石山9:50／10:17…銚立峰11:04…杵差避難小屋11:40…杵差岳11:50…杵差避難小屋宿泊 11日 杵差岳避難小屋5:00…銚立峰5:35／40…大石山6:16／28…イチジ峰7:00／07…水場分岐7:28／35…滝見場（英三の峰）8:00／17…姫子の峰8:59／9:11…足の松尾根取付9:53／58…（3km）胎内ヒュッテ10:43 その他：胎内～足の松尾根取付 乗り合いタクシー500円／人 自宅→胎内距離430km

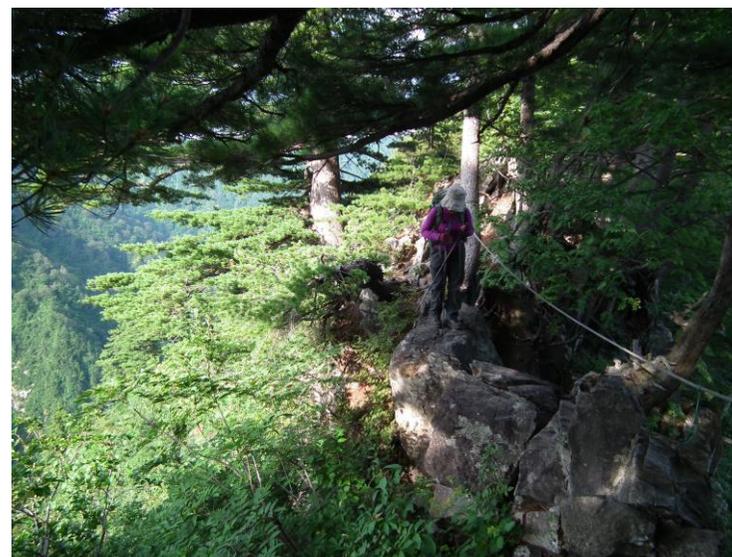
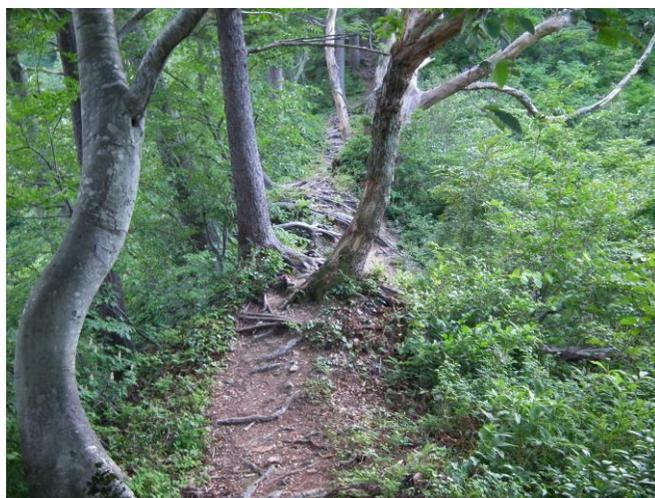


胎内ヒュッテから乗合タクシーに乗り、登山口に向かう。土日休日には小型バスが運行しているという。



胎内ダム先の足の松尾根入口到着、アブの飛び交うなか早々歩き始める。

登山口から五葉平へ、ブナの巨木の道、平坦で快適な道も5分ほどで終了。木の根の張り出した急登に変わる。



狭い岩の道が数か所続く、しっかりした岩とロープが張られているので安心して歩ける。



水場分岐付近のヒドノ峰

足の松沢の大滝が見える。“滝見場”



イチジ峰より大石山



足の松沢の向こうに鉾立峰から下るアゴク峰への尾根を見る。



ようやく大石山  
到着、頼母木山から地神山の主稜線を見る。  
杵差岳避難小屋まで残すところ  
1時間50分、終わったようなものと、言いたいところだが、うんざりするくらいのアップダウンが二度待っている。



大石山



「越後の山旅」の著者：藤島玄翁を称える松方三郎の碑文



鉾立峰、これを越えて行かねばならない！



鉾立峰 霧にまかれ方向を誤る人がいるという。



杵差から振り返ると、たどってきた鉾立、その左奥が大石山



ベニヒカゲ



ようやく杵差岳



杵差岳にて



大熊尾根への入口だが、途中の登山道崩壊のため通行禁止、よって刈払いもされていない。



杵差岳避難小屋  
北側が入口、梯子は冬  
季用であり、右上のド  
アールが出入り口とな  
っている。  
左小さな建物はトイレ  
です。  
水は無し、水場まで急  
な草付を下り、往復1  
5分にて確保した。



小屋の内部、この日は私達が一階、その後到着した若者二  
人は二階へ、いずれにしても貸切状態でした。



トンボの飛び交う山頂



頼母木山の小屋遠  
望、Tさん曰くここ  
には管理人がおり、  
ビールの販売をして  
いると、しかし、2  
時間30分の体力は  
ありません。  
持参した飲料水の  
数々で早々に喉を潤  
し、陽の沈まないう  
ちに夢の中に入りま  
した。



さらば杵差岳！



地神山から門内岳方面



タカネマツムシソウ



ハクサントリカブト



ナデシコ

大石山～鉾立、杵差岳の間には花が多く見られる。すでに秋の花へと移行しているようだ。季節を変えて訪れてみたいものだが、体力低下の今は口だけとなりそうだ。